



山梨県立

甲府昭和高等学校



所在地 〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条3000番地

電話 055-275-6177～9

FAX 055-275-2594

URL <http://www.syowah.kai.ed.jp/>

E-mail info@syowah.kai.ed.jp

創立 昭和59年4月3日

課程 全日制

利用交通機関 山梨交通バス NTT 新甲府ビル下車 徒歩10分

山梨交通ハイスクールライナーバス

アルプス通り甲府昭和高校入口下車 徒歩10分

JR 身延線 国母駅下車 徒歩20分 自転車7分

教員数 45名

生徒数 644名



学科名	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
普通科	91	117	101	110	101	124

甲府昭和高校は、生徒の挑戦を応援し
未来に生きる資質と能力を育成します。

校訓 自主創造

（「自主性」とは、自分で考え、自分で判断し、自分の意志と努力で自分の行動に責任をもって生きていくこと。「創造性」とは、新しいものを創りだしていく精神、自己の良いところを発見し、理解を深め、自己実現に努めて自らを創造すること。）

教育目標

真理を愛し、たくましく、心豊かな人間に育成する。

指導重点

「自主創造」の校訓のもと、学校の教育力および組織力の一層の向上を図りながら、生徒の挑戦を応援し、未来に生きる必要な資質・能力の育成、および人のために力を尽くせる知・徳・体の調和のとれた人間を育成することを目標に、次のことに力を入れて取り組みます。

① 身に付けさせたい資質・能力の育成

生徒の学びに向かう力を引き出し、甲府昭和高校Can-doリストに掲げた資質・能力の育成を図ります。

② さわやか教育

さわやか教育を実践し、自ら考え、自主的・積極的に行動できる生徒の育成を図ります。

③ 安全で安心な教育環境

地域や関係機関と連携して、教育の充実を図るとともに安全で安心して学べる教育環境の構築に取り組みます。

学習の流れ

1年次は、基礎学力の充実をめざした学習を進めます。文系、理系のどちらにも対応できる高習熟度クラスとして「文理習熟クラス」を2クラス設置しています。

2年次は、個々の適性や関心に応じて、文系、理系それぞれのコースに分かれて学習を深めます。

3年次は、生徒一人ひとりが個々の進路希望に応じた学習を深め、自己実現を図ります。

2・3年次の文系では「文系習熟クラス」を、理系では「スーパー理数クラス」を、それぞれ高習熟度クラスとして1クラスずつ設置し、発展的な学習を行っていきます。

	共通科目	選択科目
文系	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究・地理総合・歴史総合・公共・政治経済・数学Ⅰ/Ⅱ/A/B/C・科学と人間生活・化学基礎・生物基礎・体育・保健・英語コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲ・論理表現Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ・家庭基礎・情報Ⅰ・情報活用探究	国語表現・国語探究・日本史探究・世界史探究・世界史研究・日本史研究・数学探究A/B・地学基礎・自然科学探究A/B・スポーツ研究・音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ・芸術探究・英語探究A/B・ライフデザイン・保育基礎・食文化・ソルフェージュ・素描
理系	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究・地理総合・地理探究・歴史総合・公共・数学Ⅰ/Ⅱ/A/B/C・数学探究D・科学と人間生活・化学基礎・化学・体育・保健・英語コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲ・論理表現Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ・家庭基礎・情報Ⅰ	数学Ⅲ・数学探究C・物理基礎・物理・生物基礎・生物・音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰ

※令和9年度入学生のカリキュラム（予定）

一人ひとりの可能性を伸ばす学習機会

1、2年生を対象に、年9回の「土曜講座」を実施し、進路実現に必要な学力を養成します。

夏休みには夏期学習会（1・2年）を実施し、休業中の学習習慣の定着を図るとともに、学習支援を行います。3年生に対しては夏期課外を実施し、大学受験に向けた実践的な学力を養成します。

総合型選抜入試や学校推薦型選抜入試などに対応するため、小論文指導・面接指導を、個別に、計画的に、きめ細かく行います。

将来を見通す総合的な探究の時間

外部講師の講話による、自己理解や社会との関わりを深める活動、熟議による進路をテーマにした探究活動を通して、自己の在り方や生き方を考えることができるようになることを目指します。SDGsを切り口に社会的課題や学術的課題、興味のあることを探究して、新たな時代を担う生徒を育成する時間として、探究活動を実践し、体系的なキャリア教育を行います。

自主的な学習を応援する環境

生徒への学習支援を進めるため、学習支援システム「Classi」を活用しています。

進路実現に向けて、日々の学習計画や取り組み状況の振り返りや、1人1台パソコンを利用した個別最適化学習を推進し、多様化している大学入試に対応できる環境の整備を行っています。

また、職員室前には、「質問コーナー」が整備され、昼休みや放課後には、多くの生徒が熱心に教師に質問をしています。

活発な部活動

各部とも高い目標をもって積極的に活動をしています。体育局では、多くの選手が県代表として関東大会や全国大会に出場しています。また文化局も、各種大会・コンクールで上位入賞を果たしています。

学習との両立を図るため、「部活動の活動方針」を策定し、各部において計画的な活動を行っています。

体育局

野球部、サッカー部、バスケットボール部（男女）、陸上競技部、ソフトテニス部（男女）、テニス部（男女）、バレーボール部（男女）、卓球部、ボクシング部、弓道部、水泳部、山岳部、ソフトボール部、なぎなた部、バドミントン部

文化局

吹奏楽部、写真部、箏曲部、美術部、放送部、演劇部、書道部、茶道部、華道部、家庭料理部、ESS部、ダンス部

※体育局、文化局とも令和8年度に部員を募集した部活動を掲載しています。今後、変更となる場合があります。

部活動の実績（令和7年度）

○全国大会出場

全国高校総体（インターハイ）
なぎなた部、水泳部、ボクシング部
全国総合文化祭
写真部
NHK杯全国高校放送コンテスト
放送部

○関東大会等出場

バスケットボール部（女子）、陸上競技部
ソフトテニス部（女子）、テニス部（女子）
ボクシング部、水泳部、山岳部、ソフトボール部
なぎなた部、バドミントン部、写真部、放送部



<令和7年度卒業生の大学等進学状況>

○国公立大学（進学59名）

山梨大(16)・山梨県立大(14)・都留文科大(7)・公立諏訪東京理科大(4)・信州大(3)・静岡県立大(2)・金沢大・新潟大・静岡大・名古屋工業大・宮城大・長野大・長野県立大・前橋工科大・高崎経済大・福井県立大・公立小松大・群馬県立県民健康科学大・茨城県立医療大

○私立大学（進学118名）

麻布大・亜細亜大・大妻女子大・神奈川大・神奈川工科大・鎌倉女子大・関西外国語大・神田外語大・関東学院大・京都芸術大・杏林大・近畿大・健康科学大・工学院大・国際医療福祉大・駒沢女子大・相模女子大・産業能率大・静岡理工科大・実践女子大・順天堂大・ZEN大・創価大・大東文化大・多摩美術大・中央大・津田塾大・帝京平成大・桐蔭横浜大・東海大・東京医療保健大・東京家政大・東京経済大・東京工科大・東京工芸大・東京造形大・東京農業大・東京薬科大・常葉大・名古屋外国語大・名古屋学院大・二松学舎大・日本大・日本医療科学大・文化学園大・文教大・法政大・武蔵野大・明治大・明治学院大・明星大・ヤマザキ動物看護大・山梨英和大・山梨学院大・立教大・立正大

○短期大学・専門学校（進学33名）

【短期大学】 8名（内 私立短大7名）
【専門学校】 25名（内 看護系 7名）

